

賛助会員募集趣意書

(平成15年4月起)

謹啓 皆様には日頃から財団法人宮城県体育協会の事業推進にご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。

本協会は、「宮城県におけるスポーツを振興し県民の体力向上を図り、スポーツ精神を養う」ことを目的に、県内の競技・生涯スポーツ団体、市町村体育団体、学校体育団体を会員に設立された公益法人であります。

国際大会・国民体育大会の選手育成強化及び派遣、障害者を含めた生涯スポーツ活動の普及支援、青少年の健全育成に資するスポーツ少年団の育成、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の育成など、本県スポーツの統括団体として幅広い事業を実施しております。

2001年の新世紀みやぎ国体では男女総合優勝、またその後のよさこい高知国体では男女総合第5位の輝かしい成績を挙げることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜であり、あらためて感謝を申し上げます。

さて、みやぎ国体、全国障害者スポーツ大会、さらにはワールドカップサッカー大会の本県開催を契機に県民のスポーツへの関心は非常に高まっている中、本協会には競技力の維持・向上はもちろんのこと、今後はスポーツ人口の拡大と県民のスポーツ実施率向上に向けた事業の充実が強く求められております。

一方、本協会の事業経費は、その大部分を宮城県の補助金で充当しているのが現状であり、事業を推進するためには自立的な財源の充実がどうしても必要であります。

このため、平成15年4月から本協会及び加盟団体役員・関係者を始め、広く企業・団体や県民の方々のご支援を仰ぎ、個人1口5千円、企業・団体1口1万円を会費とする、財団法人宮城県体育協会賛助会員の制度を創設いたしました。

つきましては、趣旨にご理解を賜りまして、何卒ご入会をくださいますようお願い申し上げます。

謹白

財団法人 宮城県体育協会
会 長
理 事 一 同